

令和7年3月7日（金）
於：宇美町役場3階第2委員会室

令和6年度 第3回宇美町地域公共交通活性化協議会 次第

1. 報告事項

令和6年度 「宇美町地域公共交通計画」の進捗状況について 【資料1】

資料1

令和6年度「宇美町地域公共交通計画」の進捗状況について

1 計画の評価方法(計画71頁抜粋)

本計画は、設定した目標及びその指標の達成状況を見ながら、計画の進捗状況を管理していきます。

事業年度の後半に事業進捗や指標のモニタリングを行い、効果検証を実施するとともに、次年度の事業内容について検討を行って、効果の積み上げを図っていきます。

計画4年目時点には最終評価を行い、計画5年目時点で次期計画策定に向けた検討を進めていきます。

なお、社会情勢の変化等、計画の見直しが必要となった場合には適宜見直しを検討していきます。



2 事業の取組状況・進捗について

目標1		持続的な公共交通体系を確立させる			
施策	事業	実施主体	計画におけるR6のスケジュール	取組状況	評価
【施策1】JR+西鉄幹線系統+のりーと+タクシー+地域輸送資源による公共交通体系の構築	事業1-1) 西鉄バスの宇美駅への乗り入れ	バス事業者 宇美町 道路管理者 交通管理者	検討	R6.10.1 宇美太宰府線[4-1]乗り入れ開始	○
	事業1-2) 西鉄バス支線系統の運行形態の見直し	宇美町 バス事業者 タクシー事業者	検討	のりーと宇美の継続的なサービス改善、利用促進の取組実施	○
	事業1-3) 「のりーと宇美」の継続的なサービス改善	宇美町 タクシー事業者	継続実施	毎月、運行事業者・運行支援事業者・町で定例会を開催し、改善に向けた意見交換を実施。 ※新たにLINE再検索機能追加	○
	事業1-4) 駅前広場の機能拡張	宇美町	継続的に取り組む	10月1日、駅前広場の活性化のため、キッチンカー等事業者の出店を可能とする制度開始。 年末年始のイルミネーション設置。	○
【施策2】運転手の確保	事業2-1) 運転手募集の広報	宇美町 タクシー事業者 バス事業者	企画・広報	バス・タクシードライバー魅力発信イベント、バス運転体験会・合同会社説明会についてホームページで周知	○
	事業2-2) セカンドキャリア希望者の公共交通分野への就業促進	宇美町	企画・広報	事業2-1と関連して実施	○
	事業2-3) JR香椎線の自動運転化の推進	鉄道事業者	継続的に取り組む	R6.3.16 香椎線の自動運転開始(GOA2.5)	○
目標2		もっと公共交通を使いやすくする			
施策	事業	実施主体	計画におけるR6のスケジュール	取組状況	評価
【施策3】交通結節点の待合環境の改善	事業3-1) JR宇美駅の待合環境の向上	宇美町 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者	継続的に取り組む	R6年度から待合所の年中無休化実施。(冷暖房完備、Wi-Fi環境配備)	○
	事業3-2) 上宇美バス停の環境改善	宇美町 バス事業者	検討	—	—
【施策4】JRのサービス改善	事業4-1) 駅の窓口対応の代替サービスの検討	鉄道事業者	随時検討&実施	特急指定席予約アプリ、お問い合わせAIチャットボット	○
【施策5】交通サービスの一元化	事業5-1) MaaSの周知	宇美町 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者	随時広報	各事業者は九州MaaSの取組みを周知。	△
目標3		人と環境にやさしい交通体系を構築する			
施策	事業	実施主体	計画におけるR6のスケジュール	取組状況	評価
【施策6】環境負荷の軽減	事業6-1) モビリティマネジメントの推進	宇美町 バス事業者 タクシー事業者 地域住民	ツール準備	【施策7】利用啓発 事業7-1) モビリティマネジメントの推進に再掲	—
	事業6-2) 環境配慮型車両への更新	バス事業者 タクシー事業者 宇美町	随時検討・更新	—	—
目標4		公共交通を積極的に利用する			
施策	事業	実施主体	計画におけるR6のスケジュール	取組状況	評価
【施策7】利用啓発	事業7-1) モビリティマネジメントの推進<再掲>	宇美町 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者	ツール準備	—	—
	事業7-2) 乗り方教室・アプリ教室・出前講座の開催	宇美町 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者	企画・実施	窓口等での使い方相談受け付け、出前講座の実施。	○
【施策8】他分野との連携推進	事業8-1) 高齢者の免許返納の推進	宇美町	広報	運転免許返納者へののりーと乗車クーポン付与。	○
	事業8-2) 福祉、観光、商業と連携した移動需要の創出	宇美町 福祉団体 観光施設 商工会 地域住民	企画	—	—

3 指標の確認について

目標	指標	指標の定義	指標値の考え方	計画策定時の現況値	現況値	目標値
1 持続的な公共交通体系を確立させる	指標1 JR宇美駅利用者数	九州旅客鉄道(株)が毎年公表する「駅別日当たり乗車人員」をもって、JR宇美駅利用者数を計測します。	他交通モードとの接続円滑性の向上、利用環境の改善、利用啓発などの取り組み、まずは新型コロナウイルスからの回復を目指します(R1実績: 1,902人/日)。さらに、新規利用の獲得を目指します(R5町民アンケートJR香椎線の利用頻度:「月に数回」14.5%→20%、新規獲得者数2,300人(年換算)、6人(日換算))。	1,649人/日 (R3年度) ※2021	1,838人/日 (R5年度) ※2023	1,910人/日 (R10年度)
	指標2 路線バス利用者数 (JR宇美駅・上宇美バス停)	西日本鉄道(株)からの提供データ「ICカード利用実績データ」を基に、10月第1週の水曜日の全路線全便のJR宇美駅バス停と上宇美バス停の乗車数と降車数の合算値を集計し、利用者数とします。	鉄道との接続円滑性の向上、利用環境の改善、利用啓発などに取り組み、新規利用の獲得を目指します(R5町民アンケート西鉄バスの利用頻度:「週に1回」4.1%→10%、新規獲得者数5,370人(年換算)、15人(日換算))。	860人/日 (R4年)	794人/日 (R6年)	875人/日 (R10年度)
	指標3 のるーと宇美利用者数	AIオンデマンドバス「のるーと宇美」の月間利用者数実績から、平均1日あたり利用者数を算出し、利用者数とします。	AIオンデマンドバス運行事業の目標である、150人/日を目指します。	101人/日 (R5年度)	114人/日 (R6年度)	150人/日 (R10年度)
	指標4 のるーと宇美収支比率	AIオンデマンドバス「のるーと宇美」の事業経費(運行費用とシステム関連経費の合計)に対する運賃収入の割合を算出し、「のるーと宇美」の収支率とします。	継続的なサービス改善、利用啓発などの取り組み、利用者を増やして、収支率の改善を図ることで、持続可能性の向上を目指します。(R10年度事業経費5,100万円、R10年度運賃収入615万円、収支率12%)。	7.5% (R5年度)	8.6% (R6年度)	12% (R10年度)
	指標5 タクシー運転手数 (法人2社)	町内を中心に運行するタクシー事業者(法人2社)で勤務する乗務員数を、各社からの提供データから把握・集計し、タクシー運転手数とします。	高齢化等から減少が見込まれる状況に対して、運転手確保に向けた周知等に取り組み、現在のサービス水準を確保するべく、運転手数も現状と同等を維持することを目指します。	53人 (R5年度)	60人 (R6年度)	53人 (R10年度)
2 もっと公共交通を使いやすくする	指標6 公共交通機関が利用しやすいと思う町民の割合	行政評価アンケートで把握する、「公共交通機関が利用しやすくなったと思う」と回答した人の割合とします。	各種公共交通の利用環境の改善に取り組み、利便性の向上を図ることで、町民からの評価が現状よりも向上することを目指します。	31.7% (R6年度)	31.7% (R6年度)	上昇 (R10年度)
3 人と環境にやさしい交通体系を構築する	指標7 環境配慮型車両の導入台数	環境配慮型車両は、バスは環境省の「環境配慮型先進バス導入加速事業」、タクシーは環境省の「商用車の電動化促進事業」でそれぞれ対象車両と定められている車両とします。	バスで5台、タクシーで2台(各タクシー事業者で1台)の計7台とします。	— (R4年度)	0台 (R6年度)	7台 (R10年度)
4 公共交通を積極的に利用する	指標8 公共交通分担率	公共交通分担率は、高齢者の買物外出にターゲットを設定します。町民アンケートで把握する、60歳以上の普段の買物時の交通手段のうち、鉄道、路線バス、福祉巡回バス、タクシーの回答割合の合算値とします。目標値では、福祉巡回バスを「のるーと宇美」に置き換えます。	町内コミュニティ交通の利便性向上、利用促進に取り組み、運転免許の返納意向がある人(特に、返納したいが他の交通手段がないため返納できないという層)の免許返納を叶えることを目指します。	16% (R5年度)	未測定	26% (R10年度)
—	公共交通に対する公的財政負担額	計画に示す指標に加えて、「公共交通に対する公的財政負担額」についても毎年度モニタリングを行う。	・西鉄バス宇美～太宰府線運行維持負担金 2,480,000円 ・(オンデマンドバス運行事業費 46,947,238円—オンデマンド交通運行事業費補助金 8,789,000円=38,158,238円 計 40,638,238円	39,720,181円 (R4年度)	40,638,238円 (R5年度)	